



新入職員にむけてリハビリが
介助方法の研修を行いました
その一部を紹介します。



食事の介助

食事の介助方法について
3つのポイントを説明しました。

①姿勢

身体は真っ直ぐ
足は床につく
少し顎を引く



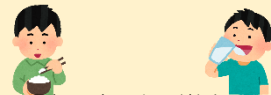
②飲み込みの確認

口の中に食べ物が入ってないか
しっかりと飲み込んでしまったかを
確認する必要があります。
次々に口に運んでしまうと
誤嚥の危険があります。



③交互嚥下

のどに食べ物が引っ掛かりやすい方には
「食べにくいもの→食べやすいもの」の



順番で介助すると引っ掛かっているもの
が食道に流れていきやすくなる方もいます

Q&A

Q：口を開けない人はどうしたらいいの？
A：どうして開けないのかを考えます。
食べ物と認識していない場合や
口の中にまだ食べ物が残っているなどの
原因が考えられます。

車いすの介助

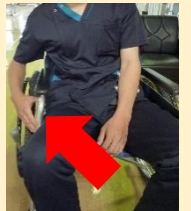


介助の基本として高齢者の目線に立ち、
こまめに話しかけながら焦らず
ゆっくりと進みましょう。
止まる時や車椅子から離れる時は
必ずブレーキを掛けましょう。

注意点①

横に転倒する危険や、
腕が車輪へ巻き込んで
しまう危険がある為

**腕が腕置きから
落ちていないか確認**



注意点②

前の方に身体が
落ちてしまう危険や、
足が巻き込む
危険がある為

**足置きの上げ忘れや
足が落ちていないか確認**



注意点③

驚いたり前方に転倒する可能性がある為
急に動いたり止まったりしない



ユリの花が開くと
リハビリ室にいい香りが
広がりました。



リハビリのベランダに
咲いたひまわりです。
患者様の背丈と同じで
すね身のをりだして
ヒマワリを眺めています◎

おてがる 作品紹介



今回は、雨に咲く
「アジサイ」を
イメージして、
患者様には思い思いの
アジサイの花を
咲かせて頂きました。
まさに
花盛りです。

